

令和5年度 全国学力・学習状況調査の分析 河内長野市立長野中学校

全国学力・学習調査の概要

国語

設問番号	学校の平均正答率
1一	87.3
1二	54.4
1三	73.4
1四	83.5
2一	89.2
2二	63.3
2三	75.9
2四	61.4
3一	54.4
3二	43.0
3三	57.6
3四	72.8
4一	84.8
4二	68.4
4三	51.3

概要

会話文、資料から必要な情報を読み取る問題、説明文の内容や要約を問う問題が出題されている。また文章について自分の考えを書くことも求められている。知識を問う問題に関しては、漢字、歴史的仮名遣い、表現技法、語句の意味、現代語訳などが出題された。

特に成果が見られた問題例

4一の古典の現代仮名遣いに直す問題、1四のインタビューについて自分の考えを述べる問題、4三文章の工夫について考えを書く問題に成果が見られた。今後も基本的な知識、自分の考えを書くことを授業の中で大切にしたい。

特に課題が見られた問題例

1三の会話の意図を問う問題、3三の後半のまとまりを問う問題、など読解力を求められる問題に課題が見られた。また2四の文章を参考に知識や経験に触れて書く問題に課題が見られた。今後も説明文、物語共に、文章の読み方を意識した授業、話し合いなどから考える授業、他にも書く時には結論に対して自分の知識や経験を根拠にして文章を書くなど書く工夫も身につけさせたい。

数学

設問番号	学校の平均正答率
1	44.3
2	86.1
3	35.4
4	53.2
5	41.8
6(1)	93.0
6(2)	58.2
6(3)	44.3
7(1)	46.2
7(2)	28.5
8(1)	53.2
8(2)	53.8
8(3)	38.6
9(1)	38.0
9(2)	37.3

概要

4領域（「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」）すべての領域から出題されている。

特に成果が見られた問題例

毎日の授業始めでのドリル学習などを通して、基本的な問題の反復練習を行ってきたため、特に計算に関わる設問で、大阪府・全国の平均正答率を上回ることができた。また、領域別では「数と式」、「図形」、「関数」において、評価の観点別では全ての観点において全国・大阪府の平均正答率を上回ることができ、ほとんどの設問に対する無回答率も全国・大阪府平均と比べて低い結果となった。

特に課題が見られた問題例

「データの活用」の領域において、箱ひげ図に関する知識、数学的に説明する問題の正答率は低く、無回答率も高く、自信がないことが分かる。今後は、この領域における授業内容の復習と問題演習を行うだけでなく、その必要性も訴え、主体的に考え、自分の意見を表現する力を定着させたい。

英語 (筆記)

設問 番号	学校の 平均正答率
1(1)	74.7
1(2)	65.8
1(3)	44.9
2	50.0
3	39.2
4	54.4
5(1)	48.7
5(2)	60.8
6	31.0
7(1)	53.2
7(2)	37.3
8(1)	51.3
8(2)	22.8
9(1)①	38.0
9(1)②	21.5
9(2)	31.0
10	8.9

英語 (筆話すこと)

設問 番号	学校の 平均正答率
1(1)	25.5
1(2)	6.0
1(3)	6.7
1(4)	24.2
2	4.7

概要

4つの技能のうち「聞くこと」「読むこと」「書くこと」においての、知識・資料の活用を問う問題や、自分の意見や考えを述べる問題が出題された。

特に成果が見られた問題例

全体的に府及び全国平均を下回っているが、放送問題では道案内や買い物といった日常的な内容を扱う問題において成果が見られる。どの問題においても、無回答率が全国平均・府平均に比べ高い。ライティング問題においても、何かしら書いて自分の意見や考えを伝えようとする意欲がみられる。

授業での活動では、自分で英文を作り発表する活動を多く取り入れている。授業でやってきたことが授業外での活動につながるように、授業外でも使える英語力をつけたい。

特に課題が見られた問題例

(筆記)

8 10 で出題された、自分の意見をまとめた英文にすること、

8のような社会問題を取り扱う説明文は正答率が低い。このような問題は、英検などでも扱われており、授業でも書き方について取り扱ってきたが、時間がたつと忘れてしまうので、継続して取り組む必要がある。

9のような文法力も必要な問題において、疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができない生徒が多かったことから、小学校・中学校1年生で扱った内容を丁寧に復習していく必要がある。

(話すこと)

英語の話すことでは、全国平均より少ないとはいえ、全問不正解者が半数を超えるなど、英語を聞き取り、適切に応答することに課題がある。今後、スピーキング力を高める活動を充実させる必要がある。

全国学力・学習状況調査の概要

生徒アンケート

概要

学校生活・家庭地域での生活における学習状況に関するアンケートです。

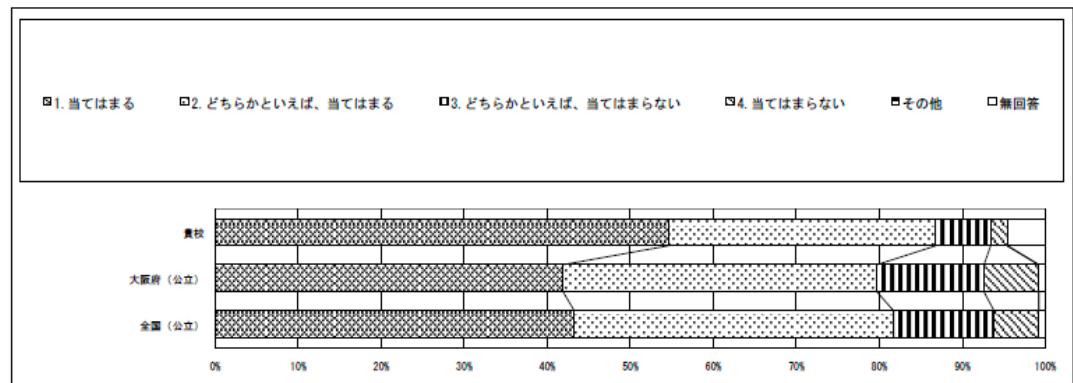
成果が見られた項目からは、

「(12) 学校に行くのが楽しい」「(15) 普段の生活の中で、幸せな気持ち」を感じる生徒が多い。これは「(5) 先生が、自分の良いところを認めてくれる」こととの関連が高いと考えられる。

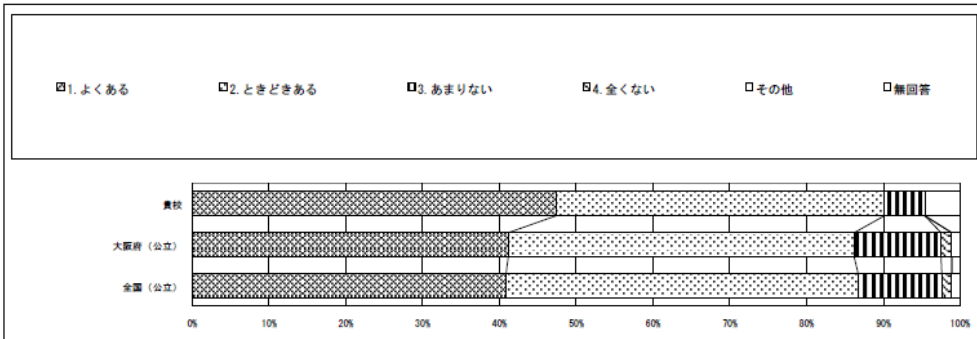
また、「(46) 道徳の授業で自分の考えを深め、学級やグループで話し合う活動に積極的に取り組む」生徒が多く、「(36) 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫」するなど、自分の気持ちや考えを相手にわかりやすく伝えようとする活動に積極的に取り組んでいる様子がうかがえる。

一方、課題が見られた項目からは、「(23) 新聞をよく読む」「(24) 読書は好き」な生徒が少なく、本校生徒においても活字離れが進んでいると推察される。しかし、「(47) 国語の勉強が好き」な生徒が、大阪府・全国平均より高いため、活字に触れる習慣を身につければ、さらに学力向上が期待される。そのため、自分の気持ちや考えを伝える活動をさらに進めていく必要がある。

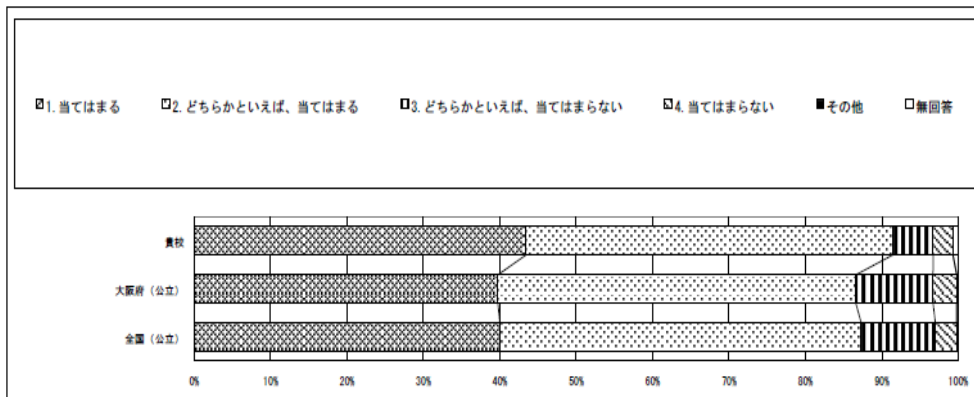
質問番号	質問事項										
(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	54.6	32.2	6.6	2.0						0.0	4.6
大阪府(公立)	41.9	37.8	12.9	6.6						0.0	0.8
全国(公立)	43.3	38.5	12.1	5.4						0.0	0.8



質問番号	質問事項										
(15)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	47.4	42.8	5.3	0.0						0.0	4.6
大阪府（公立）	41.1	45.0	11.3	1.4						0.0	1.1
全国（公立）	40.9	45.9	10.9	1.3						0.0	1.1



質問番号	質問事項										
(5)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	43.4	48.0	5.3	2.6						0.0	0.7
大阪府（公立）	39.7	46.8	10.1	3.1						0.0	0.2
全国（公立）	40.0	47.3	9.7	2.8						0.0	0.2



調査結果を受けて

特に成果が見られたアンケート項目例（全国平均と同等かそれ以上の水準であるもの。または、肯定的な意見が80%以上であるものなど）

- (4) 自分には、よいところがあると思いますか
- (5) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- (10) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
- (11) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- (12) 学校に行くのは楽しいと思いますか
- (13) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- (15) 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
- (16) 家では自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）
- (17) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
- (18) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
- (24) 読書は好きですか
- (29) 今住んでいる地域の行事に参加していますか
- (30) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
- (33) 1、2年生のときに授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
- (34) 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
- (36) 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
- (38) 1、2年生のときの授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
- (39) 1、2年生のときの授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていましたか
- (40) 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
- (41) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
- (42) 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか
- (43) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
- (44) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
- (45) 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
- (46) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
- (52) 国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか
- (53) 国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか
- (56) 数学の勉強は大切だと思いますか

- (58) 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- (71) 1、2年生のときの英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で、英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか
- (72) 1、2年生のときの英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか

特に課題が見られたアンケート項目例 (全国平均よりも大きく下回るものや肯定的意見が60%以下のものなど)

- (17) 学校の授業時間以外に、普段 (月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか (学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
- (18) 学校の授業時間以外に、普段 (月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか (学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
- (21) 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本 (教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館 (それぞれ電子図書館を含む) にどれくらい行きますか
- (22) あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか (一般の雑誌、新聞、教科書は除く)
- (23) 新聞を読んでいますか
- (25) 学校の部活動に参加していますか
- (35) 学校の授業時間以外に、普段 (月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか
- (63) 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか
- (65) 家庭学習の課題 (宿題) として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか

学校や校区で重点的に取り組んでいくこと

授業改善

○授業研究

授業見学週間や初任者・10年経験者の研究授業時に相互参観を行い、課題を検証し、授業改善につなげる。思考ツールやノートの編集作業を通して個別で考え、提出や送信機能で共有を図る。実際の交流と組み合わせてグループやクラスで学びを深める。

○見通し・生徒活動のある授業（言語活動・協働学習の充実）

各教科の授業で、「めあて」を明示し、生徒に授業のゴールを意識させ、授業への参加意識を高める。授業の終わりにはまとめの板書、問題演習などを行い、授業を振り返らせる。

○ICTの活用の推進

個人情報（他者の肖像権含む）の管理、ネットSNS利用時の人権侵害など情報モラル・セキュリティの理解をはじめに、一人一台端末を活用し、タイピングなどの操作力や情報収集とその分析などのデータ活用能力を高める。

○基礎学力の定着

授業の復習テスト・単元末テスト・既習単元テストなど小テストに取り組む。また、定期テスト及び国府の学力調査にむけた対策演習を行う。

多様な学び

○学びの自律

生徒自らの学習PDCAサイクルの実施（テスト計画表の作成やキャリアサポートを活用した課題発見と解決策の検討）

○家庭でのICT活用

GIGAスクール構想の考え方から、一人一台端末を学習に利用できるよう学校の授業だけでなく、家庭においてもタイピング練習、検索などの調べ学習やレポート（音声や写真・動画含む）提出できるよう持ち帰り学習を定期的に行う。

○新聞学習

週に1度、朝学習時に、読み解き新聞ワークシートなどを活用した新聞学習を実施する。学びの道に中高生新聞と統合版を閲覧できる新聞コーナーを設置する。

○放課後学習

月に4回、全学年を対象に放課後学習会を実施する。図書館開室と連携して放課後学習ができるようにする。

○自主学習（家庭学習）

大阪府教育委員会の「学びチャレンジ(確認・補充・発展)」を整備し、いつでも持ち帰って学習に取り組めるよう自学自習プリントBOXを設置する。（5教科）

○地域活動への参加

地域の伝統行事や文化教室などへの参加を促し、地域住民との交流を充実させる。その中で地域や社会をよくするには自分がどう関わればよいかを考える契機にする。

生徒のみなさんに取り組んでほしいこと

学習の取り組み

- 学習や生活において自らの課題を分析し、その課題を克服できるよう計画をたて、実施する。
- 興味のある本を読む。文章の意味をとらえ、自分の体験や知っている事柄と関連付けて、自分なりに感じ、理解する。
- 新聞やニュースを見聞きし、社会で起きている事象について、自分の生活に置き換えて考える。自分の感じたことや体験から考え、自らの言葉で文章を書いたり、話したりする。
- スマホやネット（SNS、動画視聴）の利用が長時間にならないようにする。学習用端末を家庭で利用する。タイピング練習や情報収集、文書作成・提出等に用いる。

保護者のみなさんに取り組んでほしいこと

ご家庭や地域において多様な学びが充実するよう学習環境を整えましょう。

- ①お子様が読書に関心が持てるよう図書館利用を勧める、関心がある本を購入するなどして本に親しむことができる環境を整えてください。
- ②新聞やTV、インターネットでのニュースを家族の話題にし、起きている事象の背景を保護者からお子様へ伝え、どのように感じるか、どんな問題が考えられるか、どのようにすれば事象における問題が解決するかなどについて話し合う時間を取ってください。
- ③地域活動について、家庭ぐるみで参加し、地域社会において多様な体験や関わりを持てるようにしましょう。
- ④過程で学習できる場所を整え、静かに学習できる空間を作ってください。
また、スマホやSNS、インターネットについて、使用時間や使用する時間帯、使い方など家庭内でのルールを作ってください。